

令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

利根町 解答と解説

組	番	氏名	
---	---	----	--

番号	解 説	答
1	金銅板両界曼荼羅(こんどうばんりょうかいまんだら)は、利根町で唯一の国指定文化財として登録されている工芸品です。1936年(昭和11年)5月6日に登録されました。	4
2	「ならし打ち唄」。「利根地固め唄」は、土羽打ち唄、石だこ打ち唄、くい打ち唄、の順に3種類の仕事歌を唄いながらそれぞれの作業を行います。建設機械などがなかった当時、多数の者が共同作業をする際に動作を揃え、作業の効率をよくするとともに、怪我人等を出さないようにするために歌われたのが始まりです。	1
3	「赤門やおめずおくせず 時鳥」は、俳人の小林一茶(こばやし いっさ)が布川(ふかわ)の来見(らいけん)寺に訪れた際に詠んだ句です。赤門は、来見寺が徳川家康(とくがわ いえやす)ゆかりの寺であるということから、特別に門を赤く塗ることを許されたことが始まりとなっています。この句の「おめずおくせず」は漢字に直すと「怖めず臆せず」と書き、ホトギスが怖れることなくこの由緒ある赤門を堂々と通り抜ける様を一茶が見て、この句を読んだのでしょうか。	3
4	利根町産米粉を使用したどら焼きです。卵を使わず季節ごとに「アン」の種類が変わります。	4
5	利根町布川(ふかわ)にある和菓子屋「船橋屋」です。ほかにも「子育て巻」や「松替の梅」等、利根町の文化や歴史をモチーフにした和菓子や、定番の和菓子を製造販売しています。	2
6	文間(もんま)小学校と合併する前の東文間(ひがしもんま)小学校にて保管されていたのが、明治の政治家勝海舟(かつ かいしゅう)が記したといわれていた扁額(へんがく)です。横長の額で、右から横文字で「東文間学校」・左側には縦文字で「辛卯仲秋(明治24年秋頃を表す)」「(勝)海舟」と記されています。かつて東文間地区に住んでいた住民が勝海舟と知人関係だったとのことで、学校を改修した際に書いてもらったそうです。現在は利根町立歴史民俗資料館に展示されています。	1
7	柳田國男(やなぎた くにお)の誕生日は1875年(明治20年)7月31日です。	2
8	赤松宗旦(あかまつ そうたん)のお墓は布川(ふかわ)の来見(らいけん)寺にあります。	2
9	蛟蛸(こうもう)神社「門の宮(かどのみや)」は、約2300年前に水神をまつた場所として建てられたと言われており、かつては文間(もんま)大明神と呼ばれていました。またこの「門の宮」の地面からは大量の貝が発掘されており、町指定文化財である「立木(たつぎ)貝塚」の中心地としても有名です。	3
10	「利根川図誌」には当時利根川で取れた酒の漁法が図入りで書かれています。答えは第1巻です。	1
11	利根町のいばラッキーはウォーキングをモチーフにしているため、ぼうしをかぶってリュックを背負っているいばラッキーが使われており、そのぼうしの色は茶色です。	4
12	利根町の布川(ふかわ)出身の書家、杉野東山(すぎの とうざん)は弟子が800人を超えるほどいたといわれています。その東山の碑は応順(おうじゅん)寺にあります。	2
13	町の花「カンナ」と町の木「サクラ」は、1973年(昭和48年)4月1日に一緒に制定されています。町の鳥「ヨシキリ」は1985年(昭和60年)8月1日に制定されました。	3
14	河童の絵で有名な小川芋銭(おがわ うせん)は幼少期に不動太郎(ふどう たろう)と呼ばれていました。	2
15	坂東(ばんどう)とは現在の関東地方を指し、その中でも日本で一番大きな川という意味で「坂東太郎」と呼ばれています。	1
16	現在の徳満(とくまん)寺の場所には府川(ふかわ)城(布川城)が建てられていたといわれています。	4
17	府川(ふかわ)城は1244年(寛元2年)に摂津の人豊島氏がこの地にきて開いたとされています。	4
18	利根親水公園は、古代ハスが淡いピンク色の花を咲かせていることで有名です。古代ハスは、花びらが25センチメートル前後で、朝から晴れると屋過ぎには花が閉じてしまうことがあり、観賞は午前中が最適です。	2
19	来見(らいけん)寺に立ち寄った徳川家康(とくがわ いえやす)公が庭にあった松の木をたいそう気に入ったので、日山和尚(にちざんおしょう)が江戸城に献上しました。後にその返礼として梅の木をくださり、松の木に替わって境内に植えたのでこの梅を「松替の梅」と名づけました。現在でも来見寺境内で見ることが出来ます。	3
20	7月第1日曜日に布川(ふかわ)の徳満(とくまん)寺で行われる太刀祭(たちまつり)は、利根川流域の一部古くから伝わる奇祭で、徳満寺の屋根裏にあった木製の太刀を担いで門田(もんでん)を練り歩き、悪霊退散を願う伝統行事です。	1
21	押付新田(おしつけしんでん)の農民が病気治療のため鶴を殺して食べたとされ、10人の命が奪われることになりました。その供養塔が鶴殺しの涙塚です。	4
22	剣を筆に持ち替えて俳句を作った久保田一夢齋(くぼた いちむさい)の墓があるのは来見(らいけん)寺です。師の素丸が「夢さめて荒野にあそぶ胡蝶かな」の句を寄せています。	2
23	柳田國男(やなぎた くにお)は少年時代、兄の開業していた医者の子の離れた建物に住んでいたとされます。それが小川家の離れです。	3
24	「うめえ」とはじもとのことばで「美味しい」「さすが、よく出来た」の意味で使われており、「利根うめえもん」のイメージキャラクターの名前になっています。消費者の皆様に安全で安心な商品を購入していただく目印となっています。	4
25	利根町は1955年(昭和30年)1月1日、布川(ふかわ)町、文(ふみ)村、文間(もんま)村、東文間(ひがしもんま)村の4つの市町が合併してできました。	3